

# 令和6年能登半島地震 災害対策ニュース

## いよいよ屋根・壁工事に着手

## 各団地で全容が目で見えて分かる



大工工事が始まり屋根作業に進む(町野・左)、全100戸を建設予定(南志見・右)

3月18日に大工工事が開始したのも束の間、20日は荒天のため現場が休工となりました。幸い本日(22日)は天候に恵まれたこともあり、着々と作業が進み、現在は屋根・壁工事に取り掛かかっています。複数の棟にわたる仮設住宅の姿が、目で見えてわかる段階までできています。

現状の予定では、南志見が4月末、町野が5月中旬に完了検査となっています。

4月1日からは新たに鳳至(ふげし)小学校、中旬からは珠洲市3団地(上戸【うえど】第3団地、正院【しょういん】小学校第3団地、火宮【ひみや】児童公園仮設団地)、輪島市旧七浦(しつら)小学校グラウンド仮設団地での大工工事がスタートします。これで、合計8団地547戸の建設を予定しています(3月22日時点)。

就労者数についても、4月1日以降は300人規模での現場就労が予定されており、能登半島における応急仮設住宅建設のピークを迎えることとなります。

引き続き、各県連・組合の皆様のご協力の

もと、全木協一丸となって取り組んでいきます。

### 宿泊ホテル「こうしゅうえん」 水道関係は復旧済

就労者が宿泊している輪島市のホテル「こうしゅうえん」では、無事に断水が解消し浴室やお手洗いで水が出ます。ただし、ホテル側の設備が復旧していないこともあり、お湯が出ません。

食事関係のお湯については、各部屋に電気ケトルがありますので、そちらが利用できます。お風呂については、事前のご案内の通り、自衛隊が準備している仮設風呂の利用が可能です。加えて、ホテル駐車場でボランティアが提供する仮設風呂が期間限定で設置されています。どちらも利用時間や枠に限りがありますが、ご利用いただけます。